

「司法試験＜刑事訴訟法＞全過去問から導く合格答案の道しるべ」における
講師レジュメについてお詫びとご報告

2025年7月22日
株式会社東京リーガルマインド
代表取締役 反町雄彦

弊社で2024年7月より販売しておりました「司法試験＜刑事訴訟法＞全過去問から導く合格答案の道しるべ」（講座コード：LB24522）の講師オリジナルレジュメについて、『司法試験 体系的問題解析刑事訴訟法』（2021年、初版、成文堂、著者：反町義昭先生 ISBN:978-4-7923-5332-2）（以下、「本件書籍」といいます。）における記述と酷似している旨の指摘を本年4月に受けました。その後、すみやかに弊社において内部調査を行いました。

調査の結果、レジュメ中、合計で約50頁分の表現が、本件書籍と同一の表現であり、出典表記もないことから、あたかも担当講師独自の表現・著作物であるとの誤解を招くような内容となっていることが判明しました。また、2023年3月より販売していた2024年向け同講座（講座コード：LB23522）においても同様の状況が認められました。

担当の大塚裕史講師へのヒアリングを行ったところ、本件書籍から許可を得ずに転載した事実を認めました。弊社として、かかる転載は、著者である反町義昭先生および出版社である成文堂様の創作の労を無視した極めて不当な行為であり、かつ本件書籍の著作権を侵害していると評価しうる違法な行為として看過できないものと認識しました。

著者である反町義昭先生には、お詫びの上、弊社の教材が反町義昭先生の著作権を侵害したものであったこと、侵害に至った経緯などを弊社ホームページで公表し、著者である反町義昭先生および出版社である成文堂様へ侵害の償いをさせていただきたい旨を申し入れました。これに対して、反町義昭先生から「司法試験受験生にとって少しでも有益になるように前向きな解決のあり方を共に考えましょう」との寛大なご配慮をいただき、本年5月、事後的に転載のご承諾をいただきました。出版社の成文堂様についても、反町義昭先生を通じてご報告のうえご承諾をいただいたため、皆様へご報告を申し上げます。なお、発覚時期が7月の本試験直前期に差し掛かっておりましたため、受験への支障がないよう、当該講座の受講生様へは、本試験終了後に個別にご報告をさせていただきました。

弊社の司法試験講座、および講師レジュメは、弊社の責任で企画・開発・提供しております。もとより本件もその責任の一切は弊社にあります。反町義昭先生、成文堂様へ多大なるご迷惑をおかけしてしまったことを、深くお詫び申し上げます。

LV2507003